

2025 年度 4 月開講予定

看護師の特定行為研修

# 受講者募集要項

手には技術、頭には知識、患者様には愛を

社会医療法人財団 池友会

福岡和白病院

## 1. 特定行為研修の目的・目標

本研修の目的は、高度・地域医療において医療安全に配慮し高度な実践能力を発揮し、自己研鑽しながらチーム医療のキーパーソンとして活動できる看護師を育成する。

### 研修目標

1. 高度医療及び地域医療の現場において、迅速かつ包括的なアセスメントを行い、当該特定行為を行う上での知識、技術及び態度の基礎的能力を養う。
2. 高度医療及び地域医療の現場において、患者の安心に配慮しつつ、必要な特定行為を安全に実施できる基礎的能力を養う。
3. 高度医療及び地域医療の現場において、問題解決にむけて、多職種と効果的に協働できる能力を養う。

## 2. 修了要件

本研修を修了するためには、次の条件を満たすこと。

- 1) 共通科目を全て履修し、筆記試験もしくは観察評価に合格すること。
- 2) 共通科目修了後、選択した区分別科目を履修し、修了試験に合格すること。

※本研修修了者には、保健師助産師看護師法第 37 条の 2 第 2 項 第 1 号に規定する特定行為及び同項第 4 号に規定する特定行為研修に関する省令に基づき、修了した特定行為区分ごとの修了証を交付し、研修修了者の名簿を厚生労働省に提出します。

## 3. 定員：2025 年度 第 3 期生

### 1) A セット 特定区分(術中麻酔管理領域パッケージプラス3区分) 定員最大8名

他の特定行為研修指定研修機関等で既に履修した学習内容が、本研修の共通項目と同等のカリキュラムと認定された場合には、関連する共通項目の受講において、全部または一部の履修を免除(「11. 履修免除要件」参照)し受講できます。選択して受講できる定員数は3名までとし、パッケージ受講者と区分を選択(i~iv)する受講者を合わせ、定員を最大8名とする。

#### 【選択できる区分】

- i) 呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連、呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連
- ii) 栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連
- iii) 栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連
- iv) 動脈血液ガス分析関連

A セット: 術中麻酔管理領域+3 区分 3 行為 定員選択受講者含む最大 8 名

区分名	特定行為	受講
呼吸器(気道確保に関わるもの)関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	必須
呼吸器(気道確保に関わるもの)関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更	必須
	非侵襲的陽圧換気の設定の変更	追加
	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静剤薬の投与量の調整	追加
	人工呼吸器からの離脱	必須
呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	気管カニューラの交換	追加
栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連	中心静脈カテーテルの抜去	追加
栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈用カテーテル管理)関連	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入	追加
動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	必須
	橈骨動脈ラインの確保	必須
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	除外
	脱水症に対する輸液による補正	必須
術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	必須
循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	除外
	持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロール投与量の調整	除外
	持続点滴中の降圧剤投与量の調整	除外
	持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	必須
	持続点滴中の利尿剤投与量の調整	除外

\* 「必須」は術中麻酔管理領域パッケージの必須項目です。

\* 「追加」の項目は当研修の術中麻酔管理領域パッケージに追加で含まれており、受講する項目です。

\* 「除外」は当研修の麻酔管理領域パッケージに含まれず、受講しない項目です。

2)B セット:在宅・慢性期領域+1 区分 3 行為 定員 5 名

区分名	特定行為	受講
呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	気管カニューラの交換	必須
ろう孔管理関連	胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	必須
	膀胱ろうカテーテルの交換	除外
創傷管理関連	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去(褥瘡・慢性創傷における腐骨除去)	必須
	創傷に対する陰圧閉鎖療法	除外
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	除外
	脱水症に対する輸液による補正	必須
精神および神経症状に係る薬剤投与関連	抗けいれん剤の臨時的投与	追加
	抗精神病薬の臨時的投与	追加
	抗不安薬の臨時的投与	追加

- \* 「必須」は在宅・慢性期領域パッケージの必須項目です。
- \* 「追加」の項目は当研修の術中麻酔管理領域パッケージに追加で含まれており、受講する項目です。
- \* 「除外」は当研修の在宅・慢性期領域パッケージでは、受講しない項目です。

#### 4. 研修期間と募集時期

研修期間: 1 年

共通科目を修了後に区分別科目を受講開始する。

研修期間は原則 1 年です。在籍期間は、最長 2 年間とする。万一、臨床実習期間を延長となった場合は、別途研修費用が掛かります。

募集時期 年 1 回(4 月開講)

#### 5. 研修内容と時間数

研修は、共通して学ぶ「共通科目」と特定行為区分ごとに学ぶ「区分別科目」に分かれており、講義、演習または実習によって行われる。

- 1) 共通科目(必修科目): 特定行為区分に共通して必要とされる能力を身につけるための科目(研修期間: 約 6 か月)

科目	時間数				
	講義	演習	実習	評価	合計
臨床病態生理学	29	1		1	31
臨床推論	26.5	16	1	1.5	45
フィジカルアセスメント	17.5	8.5	13.5	5.5	45
臨床薬理学	32.5	11.5		1	45
疾病・臨床病態概論	37	3		1	41
医療安全学/特定行為実践	24.5	14	4.25	2.25	45
合計	167	54	18.75	12.25	252

\* 共通科目は e-ラーニングを中心とした講義を受講し、確認テストに合格する。演習は関連する e-ラーニング講義を履修したのち実施し、指導者の観察評価により合格基準を満たす。実習は関連する講義・演習を履修したのち実施し、指導者の観察評価により合格基準を満たす。その後、科目修了試験に合格する。

2) 区分別科目(必修科目):各特定行為に必要とされる能力を身につけるための科目  
(研修期間:約6か月)

A セット:術中麻酔管理領域パッケージプラス3区分3行為

呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連、栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連、栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連

特定行為区分	時間数				
	講義	演習	実習	評価	合計
呼吸器(気道確保に係るもの)関連	8	—	5 症例	1 (OSCE)	9+ 5 症例
呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	20.5	6	各 5 症例	2.5	29+ 各 5 症例
呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	7	—	5 症例	1 (OSCE)	8+ 5 症例
栄養に係るカテーテル(中心静脈カテーテル管理)関連	6	—	5 症例	1	7+ 5 症例
栄養に係るカテーテル(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連	7	—	5 症例	1 (OSCE)	8+ 5 症例

動脈血液ガス分析関連	11.5	—	各 5 症例	1.5 (OSCE)	13+ 各 5 症例
栄養及び水分管理に係る 薬剤投与関連	9	1	5 症例	1	11+ 5 症例
術後疼痛管理関連	5.5	1.5	5 症例	1	8+ 5 症例
循環動態に係る薬剤投与 関連	18	6.5	各 5 症例	3.5	28+ 各 5 症例

B セット: 在宅・慢性期領域パッケージプラス 1 区分 3 行為  
精神および神経症状に係る薬剤投与関連

特定行為区分	時間数				
	講義	演習	実習	評価	合計
呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	6	—	5 症例	1	7+ 5 症例
ろう孔管理関連	14.5	—	5 症例	1.5 (OSCE)	16+ 5 症例
創傷管理関連	31	—	各 5 症例	3 (OSCE)	34+ 各 5 症例
栄養及び水分管理に係る 薬剤投与関連	9	1	5 症例	1	11+ 5 症例
精神および神経症状に 係る薬剤投与関連	19	4.5	各 5 症例	2.5	26+ 5 症例

\* 区分別科目は e-ラーニングを中心とした講義を受講し、確認テストに合格する。演習は関連する e-ラーニング講義を履修したのち実施し、指導者の観察評価により合格基準を満たす。実習(患者に対する実技)は関連する講義・演習(ペーパーシミュレーション)・手技練習(模擬患者の活用、シミュレーターの利用等のシミュレーションによる学習)を履修したのち実施し、指導者の観察評価により合格基準を満たす。OSCE のある科目に関しては、実習(患者に対する実技)の前に OSCE に合格する必要がある。その後、修了試験に合格する。

## 6. 受講モデル

2025 年度より、受講生が必要とする行為を選択的に受講できるようになりました。

### 1) 基本受講モデル

	領域別パッケージ	区分別科目(必須)	備考
A セット	術中麻酔管理領域	i 呼吸器(長期呼吸療法に係るもの) ii 栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連 iii 栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈カテーテル管理)関連 iv 動脈血液ガス分析関連	履修免除あり 「10. 履修免除要件」参照
B セット	在宅・慢性期領域	精神および神経症状に係る薬剤投与関連	

### 2) 区分別科目を選択して受講できるモデル

区分別科目	特定行為	備考
i 呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)	気管カニューラの交換	・既に特定行為研修を修了している者対象 「10. 履修免除要件」参照
ii 栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連	中心静脈カテーテルの抜去	
iii 栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈カテーテル管理)関連	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入	・履修免除あり
iv 動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血 橈骨動脈ラインの確保	

### 3) 研修の進捗表は入校式に配布します

## 7. 受講料(共通科目含む)

	社会医療法人財団池友会・一般社団法人巨樹の会・社会福祉法人あきの会に所属する看護師	社会医療法人財団池友会・一般社団法人巨樹の会・社会福祉法人あきの会以外に所属する看護師
1. A セット:術中麻酔管理領域 +3 区分 3 行為	700,000 円	800,000 円
2. B セット:在宅・慢性期領域 +3 区分 3 行為	600,000 円	700,000 円
3. 選択して受講 (特定行為区分 1 区分につき)	40,000 円	80,000 円

\*3. 選択して受講は、本研修の同等のカリキュラム(共通科目の e-ラーニングの受講・演習・実習・修了試験を修了した方を対象としていますので、共通科目の受講料は含まれません。

## 8. 研修中の必要経費

- 1) 受講料以外に学習に必要なテキスト等の書籍費が別途必要になります。
- 2) 研修のための宿泊および交通費等は各自で実費負担となります。

## 9. 研修場所および実習場所

研修場所: 社会医療法人財団 池友会 福岡和白病院

区分別科目の臨地実習は、受講生の所属施設での実習も可能です。なお、所属施設で臨地実習を行う際には、別途書類提出が必要となります。詳細については事務局へお尋ね下さい。

## 10. 履修免除要件

- 1) 既に特定行為研修を履行した者は、共通科目の e-ラーニングの受講・演習・実習・修了試験が免除、または一部免除で受講できます。
- 2) 特定行為研修を履行していないが、施設によってラダー等で共通項目の e-ラーニング受講が修了している者は、視聴した e-ラーニング視聴履歴(履修証明書等)があれば e-ラーニング視聴の免除できますが、演習、実習、修了試験の受講は必要です。

\* 免除、または一部免除の判断は、特定行為管理委員会が受講者の履修証明等で本研修の同等のカリキュラムであるかを確認・協議し、免除、または一部免除できる項目を判断します。

## 11. その他

### 1) 看護職賠償責任保険について

本研修の受講決定後は、開講式までに看護職賠償責任保険にご加入下さい。研修中は看護職賠償責任保険の加入が条件になりますので、翌年 4 月に再加入が必要になります。保険加入後、コピーを特定行為担当看護師に提出して下さい。

### 2) ウイルス抗体価検査・ワクチン接種証明について

区分別実習が始まる前に、①流行性疾患(麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎など)②B 型肝炎のワクチン接種、交代価検査の証明書が必要になります。

## 応募要領

### 1. 受講資格

次の 1) から 4) の全ての要件を満たす社会医療法人財団池友会・一般社団法人巨樹の会・社会福祉法人あきの会に勤務する看護師もしくは福岡県内で、日本国内の看護師国家試験における看護師免許を有する看護師であること

- 1) 日本国内の看護師国家試験における看護師免許を有し、通算 5 年以上の実践経験を有する看護師であること
- 2) 看護職賠償保険に加入していること
- 3) 所属長の推薦を有すること
- 4) 研修で行う臨地実習は、受講者の所属施設で行うことが原則可能であること

### 2. 出願期間・試験日・試験科目・合格発表・手続き期間

項目	日程
出願期間(当日必着)	2025 年 1 月 27 日(月)～2 月 14 日(金)
試験日	2025 年 2 月 22 日(土)
試験科目	小論文試験、面接試験
合格発表	2025 年 2 月 26 日(火)
手続き期間(当日必着)	2025 年 3 月 3 日(月)～3 月 14 日(金)

### 3. 出願手続き

#### 1) 提出書類

- (1) 受講申請書(様式 1)
- (2) 履歴書(様式 2)
- (3) 志願理由書(様式 3)
- (4) 推薦書(様式 4)
- (5) 看護師免許証(写し、A4 サイズ)
- (6) 受験票
- (7) 写真票(写真 1 枚 サイズ縦 40 mm×横 30 mm)

※書類提出封筒サイズは角 2 号で提出してください

- (8) 返信用封筒(封筒サイズ:長 3 号)2 枚に、受験者の氏名、郵便番号及び住所を記入してください。定形郵便 110 円、簡易書留郵便相当分 350 円切手をそれぞれの封筒に貼付してください。

※提出の書類の返却は致しません

## 2) 送付先及び問い合わせ先

### 【送付、持参先】

〒811-0213 福岡県福岡市東区和白丘 2-2-75

社会医療法人財団 池友会 福岡和白病院

看護師特定行為研修係

※提出書類は必ず「郵便書留」で送付するか、直接持参して下さい。

### 【問い合わせ先】

電話:092-608-0001 (代表)

問合せ窓口:福岡和白病院 看護部 看護診療サポート室

特定行為担当看護師:成田

## 3) 審査料

### ① 審査料

社会医療法人財団池友会・一般社団法人巨樹の会・社会福祉法人あきの会に所属する看護師	社会医療法人財団池友会・一般社団法人巨樹の会・社会福祉法人あきの会以外に所属する看護師
10,000 円	20,000 円

納付期間:2025年1月27日(月)~2月14日(金)

審査料は「審査料及び研修費用についての振込先」をご確認の上、振り込みをお願い致します。

②振込人名(申請者本人の氏名)の冒頭に特定行為(ATMの場合はトクテイコウイ)と付け、その続きに名前を記入してください。

③振込手数料は、ご依頼人の負担となります。

④「振込金受領書」をもって領収書に代えますので、保管してください。

※収めた審査料は原則として返還しません。

## 4) 審査料及び研修費用についての振込先

振込先銀行名 北九州銀行 本店営業部

口座番号 普通預金 No.6178585

口座名義 社会医療法人 財団池友会

届け出住所 福岡市東区和白丘2丁目2-75

届け出電話番号 092-608-0001

## 4. 選考方法

選考は、書類選考及び小論文、面接試験により行います。

## 5. 試験会場と時間

- 1) 試験会場: 社会医療法人財団 池友会 福岡和白病院 PET3 階会議室予定
- 2) 日程: 2025 年 2 月 22 日(土) 9:00 より受付開始(PET3 階会議室)
- 3) 時間割

試験科目	試験時間
受付	9:00～9:30
オリエンテーション	9:30～9:45
小論文(60分)	9:45～10:45
面接オリエンテーション	10:45～11:00
面接	11:00～終了まで

### 4) 試験に持参するもの

- (1) 筆記用具(鉛筆、消しゴム)
- (2) マスク持参が望ましい

## 6. 選考結果発表について

選考結果については、本人宛て簡易書留にて郵送致します。電話や FAX、メール等での可否のお問い合わせの対応は致しません。

## 7. 受講手続きと納付金について

選考結果発表後合格された方は、受講料を「審査料及び研修費用についての振込先」をご確認の上、振り込みをお願い致します。

- 1) 受講手続き、納付期間 2025 年 3 月 3 日(月)～3 月 14 日(金)

### 2) 納付金「受講料」参照

- ① 振込人名(申請者本人の氏名)の冒頭に特定行為(ATM の場合はトクテイコウイ)と付け、その続きに名前を記入してください。
- ② 振込手数料は、ご依頼人の負担となります。
- ③ 「振込金受領書」をもって領収書に代えますので、保管してください。  
※収めた受講料は原則として返還しません。  
※研修のための宿泊及び交通費等は各自にて実費負担となります。

## 8. 募集受講生の今後の日程(目安)

2025 年 4 月 2 日(水) 入講式・オリエンテーション予定

2025 年 4 月 3 日(木) 共通科目受講開始予定

2025年9月上旬 共通科目修了判定

2025年9月中旬 領域別パッケージ・区分別科目受講開始

2026年3月下旬 領域別パッケージ・区分別科目修了判定・修了式

## 9. 個人情報の取り扱いについて

### ●個人情報の取り扱いについて

福岡和白病院では「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、個人情報の適正な取り扱いに努め、安全管理のために必要な措置を講じております。出願および受講手続きにあたって提供いただいた個人情報は、選考試験の実施、合格発表、受講手続き、履修関係等の必要な業務において使用させていただきます。なお、当院が取得した個人情報は、法律で定められた適正な手続により開示を求められた場合以外に、本人の承諾なしに第三者へ開示・提供することはありません。

## 10. 研修に関する書類の送付先及び問い合わせ先

### 1) 送付先

〒811-0213

福岡県福岡市東区和白丘2丁目-2-75

社会医療法人財団 池友会 福岡和白病院  
看護師特定行為研修 係

### 2) 問い合わせ先

社会医療法人財団 池友会 福岡和白病院  
看護師特定行為研修係

e-mail: kango-shinryo@f-wajirohp.jp

電話: 092-608-0001 (代表) 窓口: 福岡和白病院 看護診療サポート室

特定行為担当看護師: 成田

## アクセス



### 電車を利用の場合

- JR九州 鹿児島本線 福工大前駅下車:徒歩 15分
- JR九州 香椎線 和白駅下車:徒歩 10分
- 西鉄電車 貝塚線 和白駅下車:徒歩 10分

### バス・タクシー(車)を利用の場合

- 西鉄バス 和白丘バス停下車:徒歩 3分
- 福岡空港から車:約 30分

**社会医療法人財団 池友会 福岡和白病院**

看護師特定行為研修担当

〒811-0213

福岡県福岡市東区和白丘 2-2-75

社会医療法人財団 池友会 福岡和白病院

看護師特定行為研修係

TEL. 092-608-0001(代表) 内線:29490